

【スポンサードレポート】  
ソフトバンク個人株主プロジェクト  
イベント報告

9434 ソフトバンク 東証プライム市場

2026 年 2 月 13 日（金）



FISCO Ltd.  
<https://www.fisco.co.jp>

ソフトバンク株式会社 | 2026 年 2 月 13 日（金）  
9434 東証プライム市場 | <https://www.softbank.jp/corp/>

## 【スポンサードレポート】

### ソフトバンク個人株主プロジェクトイベントレポート

#### —“育てる”体験が、株主と企業をつなぐ新しい IR のかたち—

本記事は、ソフトバンクが 2026 年 2 月 12 日に実施した個人株主向け企画「かぶ×株農園 ～かぶと株と一緒に育てよう」の大収穫祭イベント取材した内容を基に構成しています。

## 1. “株主と一緒に育てる”という新発想の IR 体験

東京都内の都市型農園「ART FARM IKEJIRI」に、朝の光が差し込む。閉校した中学校を利用したユニークな施設だ。その畑の一角には、小さな「かぶ」が土の中に静かに眠っていた。

ここで 2026 年 1 月、ソフトバンク株式会社（証券コード 9434、以下ソフトバンク）が始動させたのが、「かぶ × 株農園」である。文字どおり、“かぶ（野菜）”と“株（投資）”を掛け合わせ、株主と企業が共に“育てる”時間を共有する、新しい体験型 IR だ。

農園長を務めるのは“株主優待生活”で知られる桐谷広人さん。本イベントを通じて、「株主優待のある株を買って暮らしを楽しくするという投資方法は、手順さえ覚えれば誰でもやれる。株主優待のある株の分散投資は安全であるということを知ってもらいたい」とのことだった。

ソフトバンクはこれまでに、株式分割にちなんだ“ガチ分割カブ配りイベント”、“桐谷先生による株青空教室”、“株はじめ 川柳コンテスト”など、ユニークな株主向け企画を実施してきた。今回の「かぶ × 株農園」はその第 4 弾だ。

## 2. 個人投資家から圧倒的に支持されるソフトバンクの株

ソフトバンクが個人株主向けイベントを積極展開する背景には、同社が“日本で最も個人投資家から支持される企業の一つ”であるという事実がある。農園長の桐谷広人さんから、

ソフトバンク株式会社 | 2026 年 2 月 13 日（金）  
9434 東証プライム市場 | <https://www.softbank.jp/corp/>

「100 株が 2 万円ちょっとで買って配当も約 4%（※ 1）あり、さらに PayPay マネーライト 1,000 円分（※ 2）もらえる高い還元率が魅力」とソフトバンクの株のよさを語っていた。

※ 1 株価水準により変動します。

#### ■ 圧倒的人気の理由①：高い株主還元と安定した財務基盤

- ・ 1 株当たり配当：8.6 円（2026 年 3 月期予想）
- ・ 配当性向：76.3%（2026 年 3 月期予想）
- ・ 株主優待：PayPay マネーライト 1,000 円分（※ 2）～100 株以上、1 年以上保有～

※ 2 譲渡・請求払い（税金以外）、PayPay/PayPay カード公式ストアでも利用可能。出金・自治体への請求払い（税金など）には利用不可

これらの株主還元に加え、通信というディフェンシブな事業基盤に支えられた安定的な業績と、購入しやすい株価水準、AI を基盤とした今後の成長期待。これらの組み合わせが若年層を含む個人投資家の支持を集めている。実際、個人投資家数は 152 万人（2025 年 9 月末時点）を突破し、今もなお急成長中だ。

#### ■ 圧倒的人気の理由②：株主との距離が近い企業姿勢

株主と直接コミュニケーションを取り、企業の未来を“共に育てる仲間”として迎え入れる姿勢が、ソフトバンクの特長だ。

### 3. イベント体験レポート — 株主と企業が“土を触りながら語り合う”時間

都市の真ん中で土を触るという非日常体験が、株主と企業の距離を縮める。参加者は「かぶ」の収穫を体験。桐谷さんが“株の育て方”を“かぶの育て方”になぞらえ、投資の本質を語る場面もあった。発芽後の様子は特設サイトや SNS で共有され、オンラインとオフラインの両側面で株主と接点を作る仕組みは企業 IR としても先進的だ。

ソフトバンク株式会社 | 2026 年 2 月 13 日（金）  
9434 東証プライム市場 | <https://www.softbank.jp/corp/>

## 4. 個人投資家に情報発信することの意義

ソフトバンクは企業と株主との対話や情報発信の重要性を強く感じている。たとえば、投資家の中にはソフトバンクグループ株式会社（証券コード 9984）とソフトバンク株式会社を混同している人も少なくない。しかし両社は明確に異なる会社であり、事業内容も役割も大きく異なる。

### ● ソフトバンクグループ

孫正義氏が率いる。世界の AI 関連企業への投資などを行う戦略的投資持株会社である。昨年は、OpenAI などへの投資を実行。

### ● ソフトバンク

それに対し、ソフトバンクは通信・IT を中心とする事業会社であり、AI 社会を支えるインフラ企業への進化を志向している。

個人投資家が企業を正しく理解する上でも、この違いは重要だ。こうした事業や同社の魅力をさらに解像度高く投資家に知ってもらうことで、より応援したい企業と思ってもらうことを期待している。

## 5. 好調な業績と盤石な財務 — 中長期で“育つ企業”

ソフトバンクの人気の高い理由の一つに、**中長期で安定した業績成長が見込まれることが挙げられる。**

- ・ 2025 年度の当期純利益は 5,430 億円予想（過去最高益）
- ・ 売上高も右肩上がりの安定成長
- ・ 格付機関から高い評価を獲得し、資金調達環境も良好

通信という安定領域に加え、“配当の源泉”となる収益力が堅いという点は、インカムゲインを重視する投資家にとって大きな魅力だ。

## 6. ソフトバンクが目指す姿 — 株主と一緒に未来をつくる企業へ

今回の「かぶ × 株農園」イベントは単なる話題作りの企画ではない。ソフトバンクは、自社の成長を株主と“共に育てる”という姿勢を明確にしている。

- ・株主とのより丁寧な対話の必要性
- ・イベントによる“体験型 IR”の強化
- ・中長期的な成長と株主還元の両立を目指す経営方針

同社は、個人株主と企業が交流する機会を今後も積極的に提供していく方針だ。株主にとっては、単に配当を受け取るだけでなく、企業の成長ストーリーと一緒に楽しめる“参加型の投資体験”が広がっていく。

## 7. 参加者として感じた、ソフトバンクの株の新しい魅力

イベントを通じて見たのは、「**ソフトバンクは、株主を大切にする企業である**」という圧倒的な一貫性だ。

- ・体験を通じた株主との対話
- ・分かりやすく・楽しく学べる工夫
- ・SNS での発信による継続的なコミュニケーション
- ・安定した業績と高い配当
- ・AI 時代に向けた長期ビジョン

これらが“若年層にも人気の高い銘柄”としての地位を確立しているのだと実感できた。

“かぶ”が成長していく過程を追いながら、自分が保有する“株”の未来も一緒に育てていく。

そんな新しい株主体験が、ここから始まっている。

## まとめ

ソフトバンクは、配当や業績の安定感といった“数字の魅力”に加え、**株主と企業の距離を縮める体験型 IR** という新しい価値を提供し始めている。投資家として企業を応援する楽しさを思い出させてくれる、そんなイベントだった。“かぶ”が育つように、ソフトバンクと株主の関係もこれからさらに深まっていくに違いない。

ソフトバンク株式会社 | 2026 年 2 月 13 日（金）  
9434 東証プライム市場 | <https://www.softbank.jp/corp/>

#### 重要事項（ディスクレーマー）

株式会社フィスコ(以下「フィスコ」という)は株価情報および指数情報の利用について東京証券取引所・大阪取引所・日本経済新聞社の承諾のもと提供しています。本レポートは、あくまで情報提供を目的としたものであり、投資その他の行為および行動を勧誘するものではありません。

本レポートはフィスコが信頼できると判断した情報をもとにフィスコが作成・表示したのですが、フィスコは本レポートの内容および当該情報の正確性、完全性、的確性、信頼性等について、いかなる保証をするものではありません。

本レポートは、対象となる企業の依頼に基づき、企業への電話取材等を通じて当該企業より情報提供を受け、企業から報酬を受け取って作成されています。本レポートに含まれる仮説や結論その他全ての内容はフィスコの分析によるものです。

本レポートに掲載されている発行体の有価証券、通貨、商品、有価証券その他の金融商品は、企業の活動内容、経済政策や世界情勢などの影響により、その価値を増大または減少することもあり、価値を失う場合があります。本レポートは将来のいかなる結果をお約束するものでもありません。お客様が本レポートおよび本レポートに記載の情報をいかなる目的で使用する場合においても、お客様の判断と責任において使用するものであり、使用の結果として、お客様になんらかの損害が発生した場合でも、フィスコは、理由のいかんを問わず、いかなる責任も負いません。

本レポートに記載された内容は、本レポート作成時点におけるものであり、予告なく変更される場合があります。フィスコは本レポートを更新する義務を負いません。

本文およびデータ等の著作権を含む知的所有権はフィスコに帰属し、フィスコに無断で本レポートおよびその複製物を修正・加工、複製、送信、配布等することは堅く禁じられています。

フィスコおよび関連会社ならびにそれらの取締役、役員、従業員は、本レポートに掲載されている金融商品または発行体の証券について、売買等の取引、保有を行っているまたは行う場合があります。

以上の点をご了承の上、ご利用ください。

#### ■お問い合わせ■

〒107-0062 東京都港区南青山 5-13-3

株式会社フィスコ

電話：03-5774-2443（IR コンサルティング）

メールアドレス：[support@fisco.co.jp](mailto:support@fisco.co.jp)